

令和4年度小千谷市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、全水稲作付面積に占める主食用米作付面積の割合が87%以上となっており、主食用米以外では、新市場開拓用米や加工用米、飼料用米等の作付けやそばの生産に取り組んでいる。

引き続き需要に応じた米生産を基本とし、主食用・非主食用米を合わせた米全体の需要拡大と、農業者の所得最大化のため多様な米づくりを推進する。

また、暗渠等の排水対策が進んでいない水田が多いことから、園芸作物の導入及び作付けの拡大は難しい状況にあるが、農業所得の増大、農業生産の拡大のためには、暗渠等の排水対策がされている水田においては、積極的に主食用米から園芸作物への転換を推進していく。

現在、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少がみられることから、不作付地の拡大が懸念されるため、担い手等への農地集積も進めていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域において、カリフラワー、里芋、人参を重点品目として面積拡大を目指していることから、それら地域振興作物を中心とした高収益作物の生産拡大に取り組み、農業者の所得向上を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当地域において、水田を利用した畑作物の生産は暗渠等の排水対策が進んでいない水田が多いことから園芸作物の導入及び作付けは進んではいないが、管内の園芸が盛んな地域においては水田を利用した畑作物の生産の取り組みが行われおり、地域振興作物を中心とした高収益作物の生産拡大や定着を推進していく。また、長年水稲以外の作物を作付けしている水田の点検を行い、ブロックローテーション等の導入の検討や畑地化に向けて推進していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

ア 家庭用米

高品質・良食味米の生産を目指し、主産地としての地位を確保する。

イ 業務用米

需給環境の改善を図るため、実需者からニーズのあるコシヒカリ以外のうるち米や、契約栽培によるもち米や醸造用米の生産を推進する。

(2) 備蓄米

買い入れ数量に応じた作付けを推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

大規模経営における作期分散の観点から多収品種の導入による単収の向上や立毛乾燥の実施および疎植栽培等による低コスト化および複数年契約を推進し、集荷・販売環境の整備を行っていく。

イ 米粉用米

大規模経営における作期分散とコスト低減の観点から多収が期待できる品種の導入や、生産コスト低減技術および複数年契約を推進する。

ウ 新市場開拓用米

主食用米に次ぐ新たなマーケット開拓のため、取組面積増加を目指す。

エ WCS 用稲

実需者との契約に基づき、令和3年度の栽培面積を維持する。

オ 加工用米

産地交付金を活用し、需要に応じた生産および複数年契約を推進する。

(4) 飼料作物

土地利用集積による生産および単収の向上を図るため湿害対策として明渠排水の取組により生産性の向上を図る。

(5) そば

土地利用集積および湿害対策として畝立播種等の取組により生産性の向上を図る。

(6) 高収益作物（野菜等）

「カリフラワー」「人参」「里芋」を振興作物として生産を推進する。また、一般野菜、花卉・花木、果樹等については、市場出荷や直売所への出荷を促し、生産拡大を目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1805.25		1755.00		1700.00	
備蓄米	25.17		26.00		27.00	
飼料用米	1.17		1.20		2.00	
米粉用米	2.78		3.00		3.50	
新市場開拓用米	166.54		170.00		180.00	
WCS用稲	6.70		6.80		6.80	
加工用米	57.29		58.50		60.00	
麦	0		0		0	
大豆	1.90		2.00		2.00	
飼料作物	1.91		0.30		1.00	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	112.70	3.90	130.00	4.00	140.00	4.00
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	39.66		42.25		46.50	
・野菜	38.10		40.65		44.74	
・花き・花木	0.56		0.47		0.55	
・果樹	0.99		1.12		1.20	
・その他の高収益作物	0.01		0.01		0.01	
畑地化	0		0		0	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標		
				前年度（実績）	目標値
1	そば （基幹作物）	収量向上加算	作付面積 10 a あたり収量	（3年度）112ha （3年度）76kg	（5年度）135ha （5年度）85kg
2	カリフラワー、里芋、人参 （基幹作物）	生産拡大加算 （地域振興作物）	作付面積	（3年度）7.7ha	（5年度）13ha
3	地域振興作物以外の野菜、 花卉・花木、果樹 （基幹作物）	生産拡大加算 （地域振興作物以外）	作付面積	（3年度）3.7ha	（5年度）7ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:新潟県

協議会名:小千谷市農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	収量向上加算	1	15,000	そば	畝立播種・明渠排水
2	生産拡大助成(地域振興作物)	1	5,000	カリフラワー、里芋、人参	作付面積に応じて支援
3	生産拡大助成(地域振興作物以外)	1	3,000	野菜、花卉、花木、果樹	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。